

## 総括質疑並びに一般質問（個人質問）

【質問日】令和3年12月7日（火）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
12	落 口 久 光	<p>1 若者・子育て支援の拡充と少子化対策について</p> <p>(1) 若者の地元就職定住を勧める施策について</p> <p>ア 地元就職希望と実際の就職状況及びそのギャップを埋める施策はあるか。</p> <p>イ 求人情報を広く伝える必要があると思うが、どう考えるか。</p> <p>ウ 教育現場における本市就職定着化のこれまでの展開と今後の改善策は</p> <p>(2) 奨学金返還事業について</p> <p>ア 利活用の実態はどうか。</p> <p>イ 適用範囲の拡充をする考えはあるか。</p> <p>(3) 各種補助事業の地方通貨としての地域振興券化と更なる拡充ができないか。</p> <p>2 電力事業の見通しと地域産業振興事業について</p> <p>(1) 本市の次世代エネルギー政策の成果はどうか。</p> <p>(2) 今後の次世代エネルギー戦略の展望を伺う。</p> <p>(3) 将来の電力需要の見通しが激増し、電力不足の懸念もあるが、認識を伺う。</p> <p>(4) 次世代エネルギー候補の水素エネルギーでの本市産業振興について考えを伺う。</p>
13	坂 口 正 幸	<p>1 家族が亡くなられたときの諸手続の簡素化について</p> <p>(1) 遺族として行う手続等は、何があるか。</p> <p>(2) 手続の状況と遺族の方へのサポート体制は</p> <p>(3) 手続をサポートする専用の窓口の開設はできないか。</p> <p>2 屋内消火栓及び消火器等による消火活動への考えと取組について</p> <p>(1) 近年の建物火災の状況は</p> <p>(2) 建物火災の初期消火における市民を巻き込んだ訓練の現状は</p> <p>(3) 屋内消火栓による消火訓練等の実施状況は</p> <p>(4) 個別講習や屋内消火栓操法大会等、今後の計画を問う。</p>
14	井 上 勝 博	<p>1 気候危機の打開について</p> <p>(1) IPCC第5次評価報告書の気候変動がもたらす「主要な8つのリスク」をどのように認識しているか。人類の未来がかかっているという認識は共有できるか。</p> <p>(2) 国連は2030年までのCO2削減目標をどのように示しているか。</p> <p>(3) 九州電力株式会社鹿児島支店との「SDGs・カーボンニュートラルに関する包括連携協定」の締結に関連して</p> <p>ア 国・電力会社に対し期限を切って火力発電所の廃止を要望すべきではないか。</p> <p>イ 出力調整ができない原発は、火力発電所をバックアップ電源にしているため脱炭素の障害になっているのではないか。</p> <p>ウ 出力調整ができない原発は、夜間電力の安売りなど省エネ対策の障害になっていないか。</p> <p>エ 出力エネルギーの3分の2を海に捨てている原発は、地球温暖化の一因になっていないか。</p>

		<p>(4) 今後、薩摩川内市で次の内容の計画を策定する考えはないか。</p> <p>ア 公共施設、公共事業、自治体業務でどれだけCO2を削減できるかなど、地方自治体自らの脱炭素化に向けた「目標と計画」と、区域内の脱炭素化の「目標と計画」という両面での「目標と計画」を策定する考えはないか。</p> <p>イ その実現のために、地元企業と独自の協定を結ぶ考えはないか。</p> <p>ウ 省エネ投資への自治体独自の支援、断熱・省エネルギー住宅へのリフォーム、太陽光発電用パネルの設置などへの助成を行う考えはないか。</p> <p>エ 住民参加のもとで、自治体がゾーニングを行い、地域の環境と両立した形で再生可能エネルギーを導入「できる」場所と「できない」場所を“可視化”する考えはないか。</p> <p>オ 太陽光など再生可能エネルギーによる電力の利用、税金の優遇、補助金の申請、脱炭素に有効な製品・サービスの選択など、住民や地元企業に専門的なアドバイスを行える支援窓口を、環境省、都道府県との連携を強化しながら、設置する考えはないか。</p> <p>(5) 地球にやさしい環境整備事業補助金については、気候危機対策に逆行することのないよう更なる充実を</p> <p>2 会計年度任用職員制度について</p> <p>(1) 会計年度任用職員への通勤手当はどうか。</p> <p>(2) 2020年度まで支給されていた通勤手当をカットしたのはなぜか。</p> <p>(3) EST報酬を一方向的に15%もカットしたのはなぜか。</p> <p>(4) ESTという職種を時間額会計年度任用職員でいいのか。</p> <p>3 向田排水機場のポンプトラブルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮に真空ポンプから水が噴出しても主ポンプは動くよう改良すべきではないか。</li> </ul> <p>4 特別障害者手当について、グループホームなど施設入所者も対象になることの周知を</p> <p>5 公共施設の修理・改善について</p> <p>(1) 樋脇総合運動場体育館の雨漏り対策工事の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) SSプラザせんだいの多目的ホール2階客席の手すりが高く危険なため改善を</p>
15	坂口健太	<p>1 認知症に対する取組について</p> <p>(1) 普及啓発・本人発信支援についての本市の取組は</p> <p>(2) 認知症予防についての本市の取組は</p> <p>(3) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援についての本市の取組は</p> <p>(4) 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援についての本市の取組は</p> <p>2 本市の投票率向上に向けた取組について</p> <p>(1) 本市の投票率の現状分析と見えてくる課題についての認識は</p> <p>(2) 投票率向上に向けた取組を示せ。</p> <p>(3) 移動が困難な高齢者向けの投票環境の改善策についてどう考えるか。</p> <p>(4) 若い世代の投票率向上に向けて、市内高校に期日前投票所を設置できないか。</p>